

平成 23 年 3 月 31 日

各 位

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 上場会社名 | 東邦瓦斯株式会社             |
| 本社所在地 | 名古屋市熱田区桜田町 19 番 18 号 |
| 代表表者  | 代表取締役社長 佐伯 卓         |
| コード番号 | 9533                 |
| 上場取引所 | 東京・大阪・名古屋 第1部        |
| 問合せ先  | 企画部長 伊藤 克彦           |
|       | TEL 052 (872) 9313   |

### 平成 23 年度事業計画に関するお知らせ

平成 23 年度事業計画について、公表いたしましたのでお知らせいたします。

詳細については、別紙をご参照下さい。

以 上

## 平成 23 年度事業計画

### 1. はじめに

わが国経済は、米国景気回復遅れ、円高の進展に加え、中東情勢の緊迫もあり、先行き不透明な状況にあります。また、雇用・住宅着工は依然として厳しく、加えて、東北地方太平洋沖地震による被害は、経済面でもさまざまな影響を及ぼすと考えられます。

当地経済も、生産活動を中心として大きな影響があると思われます。こうした中でも、当地域は世界的な「ものづくり産業」の集積地であり、一日も早い生産の回復が待たれるとともに、中長期の成長ポテンシャルは高いと考えます。また、環境性・供給安定性に優れた天然ガスに対する期待は、高いものがあります。

当社は、天然ガスの普及拡大と高効率・高度利用を推進するとともに、安定供給と安全・安心の確保に努めます。併せて、地域社会とともに持続的に発展し、環境調和型社会の実現に寄与してまいります。

こうした状況の中で、23 年度事業計画を策定いたしました。なお、今般の地震による影響は計画数値には反映しておりません。

### 2. ガス販売計画

#### (1) お客さま数

新規供給エリアの拡大と併せて、都市ガスのお客さま獲得シェアの向上に努め、対前年 13 千件・0.6% 増の 2,297 千件とする計画です。

#### (2) ガス販売量

ガス販売量は、お客さま数の増加に加えて、業務用需要を着実に開拓し、全体で対前年 44 百万 m<sup>3</sup>・1.1% 増の 3,892 百万 m<sup>3</sup> とする計画です。

内訳は、家庭用は 2.7% 減の 727 百万 m<sup>3</sup>、業務用は 1.8% 増の 2,880 百万 m<sup>3</sup>、卸供給は 4.6% 増の 285 百万 m<sup>3</sup> です。

中期経営計画の目標との比較では、お客さま数の増加ペースは下回っておりますが、ガス販売量は概ね計画どおりとなっております。

<表 1. お客さま数・ガス販売量>

(中期経営計画)

|        | 単位                | 21 年度<br>(実績)   | 22 年度<br>(実見)   | 23 年度<br>(計画) | 対前年度<br>増減 | 対前年度<br>伸び率    |
|--------|-------------------|-----------------|-----------------|---------------|------------|----------------|
| お客さま数  | 千 件               | 2,270           | 2,284           | 2,297         | 13         | 0.6%           |
| 家庭用    | 百万 m <sup>3</sup> | [ 720 ] 724     | [ 723 ] 747     | 727           | -20        | [ 0.6% ] -2.7% |
| 業務用    | 百万 m <sup>3</sup> | 2,614           | [ 2,796 ] 2,829 | 2,880         | 51         | [ 3.0% ] 1.8%  |
| 卸供給    | 百万 m <sup>3</sup> | 250             | 272             | 285           | 13         | 4.6%           |
| ガス販売量計 | 百万 m <sup>3</sup> | [ 3,584 ] 3,588 | [ 3,791 ] 3,848 | 3,892         | 44         | [ 2.7% ] 1.1%  |

| 25 年度<br>(計画) | 20~25 年度<br>平均伸び率 |
|---------------|-------------------|
| 2,380         | 1.1%              |
| 761           | 1.2%              |
| 2,924         | 1.9%              |
| 315           | 3.1%              |
| 4,000         | 1.8%              |

注 : [ ] は気温補正後の数字

#### (3) 用途別販売計画

家庭用では、発電効率が高くコンパクトな家庭用燃料電池「エネファーム」の新型機の販売を開始するとともに、省エネ型給湯器「エコジョーズ」、ガス温水床暖房などの販売に注力します。エネファームと太陽光を組み合わせたダブル発電システムにより、更なる環境負荷の低減を提案します。また、Si センサーワンコロをはじめとしたガス機器の先進性など、より多くのお客さまに“ガスの良さ”を訴求する活動を展開します。

業務用では、エンジニアリング力や提案力を活かして、工業炉・ボイラなどの熱需要を中心とした新規開発を進めます。従来の供給エリア内の需要開発に加え、エリア周辺の開発に積極的に取り組みます。また、超高効率ガスエンジンヒートポンプ「GHP XAIR（GHP エグゼア）」の販売を開始するなど、ガス空調、ガスコーチェネレーション、業務用厨房（涼厨）の導入に注力します。省エネや周辺設備の管理など都市ガスを中心としたエネルギーサービス事業も推進します。このほか、ガス厨房機器の優れた特徴を紹介するため、業務用厨房ショールームを充実します。

#### (4) LPG事業

お客さま数は対前年2.0%増の326千件、販売量は0.3%増の411千tを計画しております。都市ガスとLPGの連携により、営業力を強化するとともに、保安・サービスの向上に取り組みます。

<表2. LPG事業のお客さま数・ガス販売量>

|          | 単位  | 22年度<br>(実見) | 23年度<br>(計画) | 対前年度<br>増減 | 対前年度<br>伸び率 |
|----------|-----|--------------|--------------|------------|-------------|
| お客さま数    | 千 件 | 320          | 326          | 6          | 2.0%        |
| 販 売 量    | 千 t | 410          | 411          | 1          | 0.3%        |
| (家庭用、内数) | 千 t | 65           | 66           | 1          | 1.2%        |

(中期経営計画)

| 25年度<br>(計画) | 20~25年度<br>平均伸び率 |
|--------------|------------------|
| 359          | 3.2%             |
| 440          | 1.5%             |
| 75           | 3.2%             |

### 3. LNG使用計画

LNG使用量は、対前年0.2%増の3,030千tを計画しております。LNG調達は、20年代半ばまで長期契約を中心として必要量を確保しております。

<表3. LNG使用量>

|        | 単位  | 22年度<br>(実見) | 23年度<br>(計画) | 対前年度<br>増減 | 対前年度<br>伸び率 |
|--------|-----|--------------|--------------|------------|-------------|
| LNG使用量 | 千 t | 3,024        | 3,030        | 6          | 0.2%        |

(中期経営計画)

| 25年度<br>(計画) | 20~25年度<br>平均伸び率 |
|--------------|------------------|
| 3,186        | 2.0%             |

### 4. 設備投資計画

設備投資額は312億円を計画しております。安定供給や保安対策、需要の増加に応じた設備形成を進めます。

内訳は、製造設備では9億円、供給設備では、名南幹線、伊勢湾横断パイプラインなど基幹幹線の整備、経年ガス導管対策など256億円、その他業務設備ではお客さま情報システム更新など47億円です。

伊勢湾横断パイプラインのシールド工事は22年度に完了し、23年度には配管工事を開始いたします。

中期経営計画の目標に対しては、概ね計画どおりに進捗しております。引き続き、効率化に取り組んでまいります。

<表4. 設備投資計画>

(単位：億円)

|        | 内 容      | 22年度<br>(実見) | 23年度<br>(計画) |
|--------|----------|--------------|--------------|
| 製造設備   | 製造設備     | 2            | 9            |
| 供給設備   | 本支管      | 43           | 33           |
|        | 幹 線      | 201          | 171          |
|        | 一般導管     | 244          | 204          |
|        | 計        | 13           | 12           |
|        | 供給管・メーター | 26           | 40           |
| その他設備  | 283      | 256          |              |
| 供給設備合計 | 25       | 47           |              |
| その 他   | 310      | 312          |              |
| 合 計    |          |              |              |

(中期経営計画)

| 5ヵ年計<br>21~25年度 |
|-----------------|
| 330             |
| 1,080           |
| 170             |
| 1,580           |

## 5. 保安・サービス

家庭用は、安全型ガス機器への取替えの促進、お客さまと直接対面することを基本とする定期保安点検の強化、業務用は、厨房施設への換気センサー取付け促進などに取り組みます。

製造面では、運転訓練シミュレータの設置、供給面では、ガス導管の耐震性向上と経年入替、ガス導管網ブロックの更なる細分化などを推進します。また、今般の地震を踏まえた知見に基づき、必要な対策を進めます。

お客さまサービス面では、対応の迅速化と営業力の強化を目的とした、お客さま情報システムの開発に取り組むとともに、業務用のお客さまを対象に、省エネ支援機能をプラスしたGHP遠隔監視サービス「エネフレックス」を開始するなど、一層のCS(お客さま満足度)の向上に努めます。

今後とも、CSR経営を推進し、コンプライアンスを徹底するなかで、経営の透明性・健全性の確保に努めてまいります。

## 6. 技術開発

天然ガスの高効率・高度利用のため、家庭用では、固体酸化物形燃料電池(SOFC)の実証試験、業務用では、業務用SOFCの開発、GHP・工業炉バーナーの高効率化を推進します。

環境技術では、新たに、燃料電池・太陽電池・蓄電池の3電池を組み合わせたスマートエネルギーハウスや、バイオガス製造・利用プラントの技術評価を行います。また、豊田市での次世代エネルギー実証試験への参画など、スマートエネルギーネットワークの実現に取り組みます。

将来の水素社会に向けた取り組みでは、水素ステーションにおける耐久試験や高圧(70MPa)充填技術の実証試験に引き続き取り組みます。

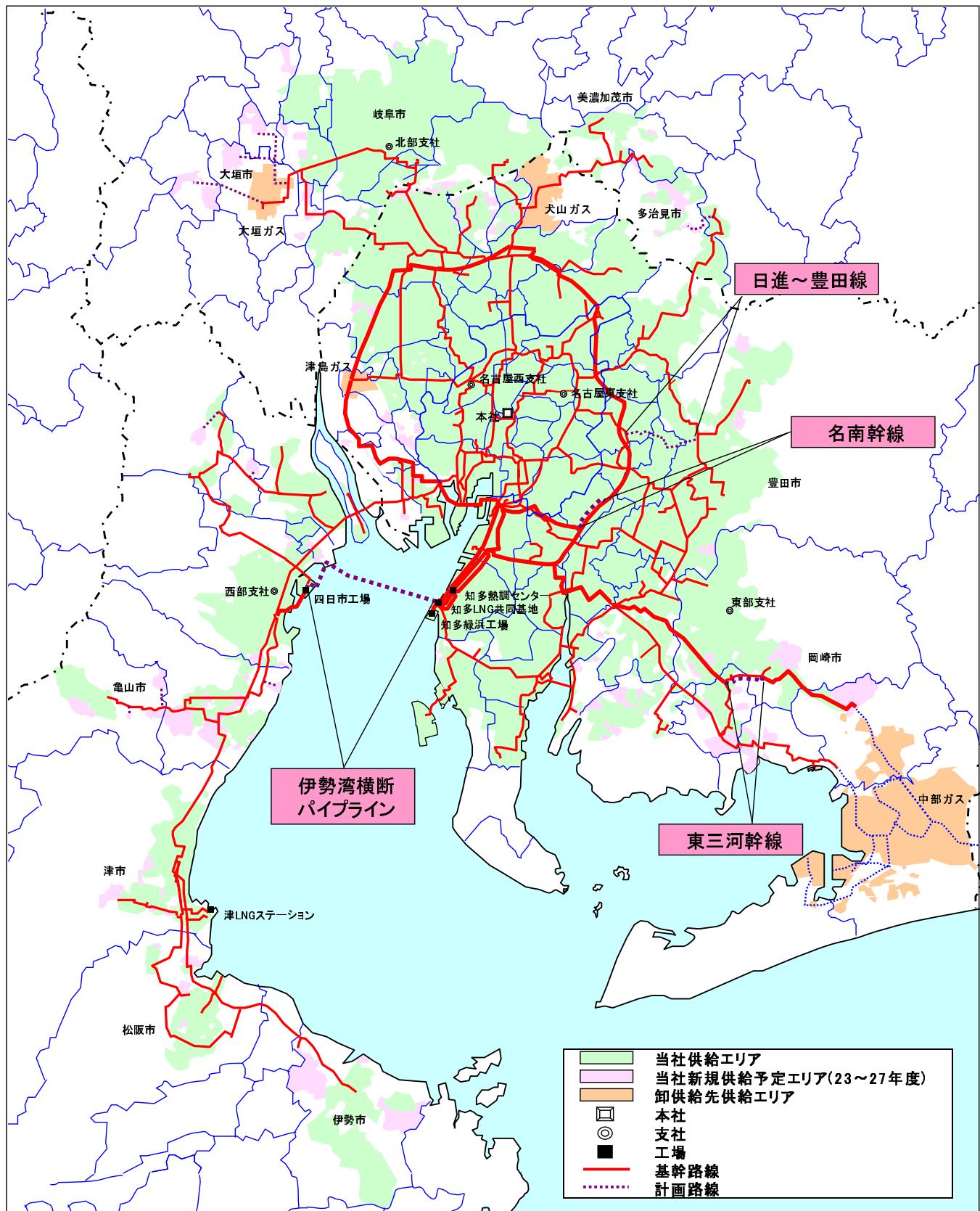
## 7. 地域社会における環境活動

次世代へのエネルギー・環境教育では、ガスエネルギー館での環境学習イベント、小中学校への出前授業、環境に配慮した食生活を提案するエコ・クッキング活動などを充実します。また、自治体や市民団体と連携して、自然観察会や里山ボランティア活動を実施します。

6月には「東邦ガスグループECOアクション月間」として、全社員が参画し、地域の皆さんとともに環境活動を展開します。

以上

# 供給エリア図



【主な基幹路線計画】

| 路線名         | 延長     | 工期      |
|-------------|--------|---------|
| 日進～豊田線      | 10.2km | 19～23年度 |
| 名南幹線        | 5.3km  | 22～25年度 |
| 東三河幹線       | 6.1km  | 21～23年度 |
| 伊勢湾横断パイプライン | 19.5km | 20～25年度 |